



焼け跡の墓標
大空襲の犠牲者にお参りする市民
(昭和20年)
写真提供:熊本日日新聞社



熊本大空襲の焼け跡 熊本市の花畑公園付近(昭和20年7月20日)
写真提供:熊本日日新聞社



教育も戦時体制へ。小学校の運動会も戦時色が濃くなった。
熊本市の碩台国民学校(昭和16年)
写真提供:熊本日日新聞社

70年前、日本は戦争をしていました。わたしたちの住む熊本でも、空襲で多くの人が亡くなり家が焼かれました。戦争は、多くの人の生命や財産が失われる本当に悲惨なものです。普段の生活の中で、わたしたちが「戦争」や「平和」について考えることはあまりありません。

しかし、今でも世界のどこかで戦争は起きており、平穏な暮らしや自由を奪われている人たちがいるのも事実です。

戦後70年をむかえる今、すべての世代が「戦争」の恐ろしさや悲惨さを改めて学び、「平和」の尊さについて考えることで、「戦争はやめよう」という平和を願う心を持ち続けましょう。



戦時中の小学生が書いた書と絵
宇城市在住の上村 真理子さん所蔵



運動場で防空壕掘り作業をする子どもたち
(昭和19年)
写真提供:熊本日日新聞社



終戦を伝える天皇の肉声の放送(玉音放送)を聞き、皇居前に集まった人々(昭和20年8月15日)
写真提供:熊本日日新聞社



スパイやデマを取り締まるカルタ
宇城市在住の上村 真理子さん所蔵



戦時中の子ども向け雑誌の表紙
宇城市在住の上村 真理子さん所蔵



戦場へ向かう兵士のために寄せ書きを書いた国旗
宇城市在住の上村 真理子さん所蔵

戦後70年平和啓発イベントを開催します

戦後70年 — つなげよう平和のバトン

期日 / 8月1日(土)~16日(日) 午前10時~午後6時

場所 / びぶれす熊日会館7階 びぶれすスタジオ(中央区上通町2-20)

主催 / 熊本日日新聞社、熊本放送、熊本市

戦争の悲惨さを知り、平和についてあらためて考えましょう。

展示内容

- ・戦争と市民生活
- ・熊本市の大空襲
- ・兵士の遺書
- ・戦時下の子どもたち
- ・県内の戦争遺跡
- ・空襲映像
- ・戦時中の資料映像

体験・参加型の催し

- ・戦時食体験(すいとん)
- 日時 8月1日、9日、15日、16日(予定)
- 午前10時半から配布(9日は午後2時から)
- ・語り部トーク&読み聞かせ など
- 日時 期間中の土・日開催
- ①午後1時半~、②午後2時半~



会場へのアクセス

- バス 通町筋バス停下車すぐ
- 電車 通町筋電停下車すぐ